

2号様式

会 議 議 事 録

1 会議名	第11回長岡市持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会
2 開催日時	令和3年3月25日（木曜日）午後3時～午後3時45分
3 開催場所	アオーレ長岡大会議室
4 出席者名	（有識者）鯉江座長、海津委員、高橋委員、並木委員、長谷川委員 （事務局）小山総務部参事、小嶋財務部長ほか関係職員
5 欠席者名	なし
6 議題	1 開会 2 前回の議論でいただいた意見の概要（報告） 3 討議 持続可能な行財政運営プラン(案)について 4 閉会
7 会議資料	別添のとおり
8 議事概要	別添のとおり

第 11 回長岡市持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会

議事概要

- ・はじめに、事務局から前回の懇談会の意見の概要の報告及び確認があり、了承された。
- ・次に、持続可能な行財政運営プラン（案）について事務局から説明があり、議論が行われた。

指摘・意見等は以下のとおり。

<全体的事項>

- ・よくまとまった良いプランができた。具体的な施設などを掲載した取組と、これから検討を進める取組とが混在しているが、策定時点において記載内容にバランスがとれていない部分があっても、それだけ幅広い内容ということで問題は無いのではないかと。
- ・既に具体になっている取組から進め、その検証も踏まえながら他の取組の検討を深めていって欲しい。検討を全て終えて、全貌が見えてからようやく取組を始めるのではなく、「出来るものから実施していく」ことが、これからの時代は大切である。
- ・プランは、策定することよりも実施していくことの方が大切である。今後は、進捗管理の主体となる庁内の行財政改革委員会が、責任をもってPDCAサイクルを着実に回して取り組んでいって欲しい。
- ・取組を実施していくためには、市民の理解が不可欠。パブリックコメントの実施を以て説明責任を果たしたことにはならないので、今後は、市の現状や専門用語の解説も含め内容を分かりやすく周知し、市の考え方を浸透させていって欲しい。
- ・各取組の行程表は、目標管理に役立てるとともに、進捗状況は市民にも適宜公開するよう検討して欲しい。
- ・危機的な財政状況に陥る前に、行財政を持続させるよう前もって対応していくことに価値があるので、長岡市の今後の取組を注視したい。

<個別事項>

- ・日進月歩で変化する情報通信技術にとっての5年（プラン計画期間）は長いので、新しい技術の導入等は、無駄が生じないように先を見据えて検討していって欲しい。
- ・「人材育成」については、目標を立てて効果を検証していくことは難しいが、挑戦して取り組んでほしい。